

教授・猿渡 淳二

大学院生命科学研究部 薬学系 薬物治療学

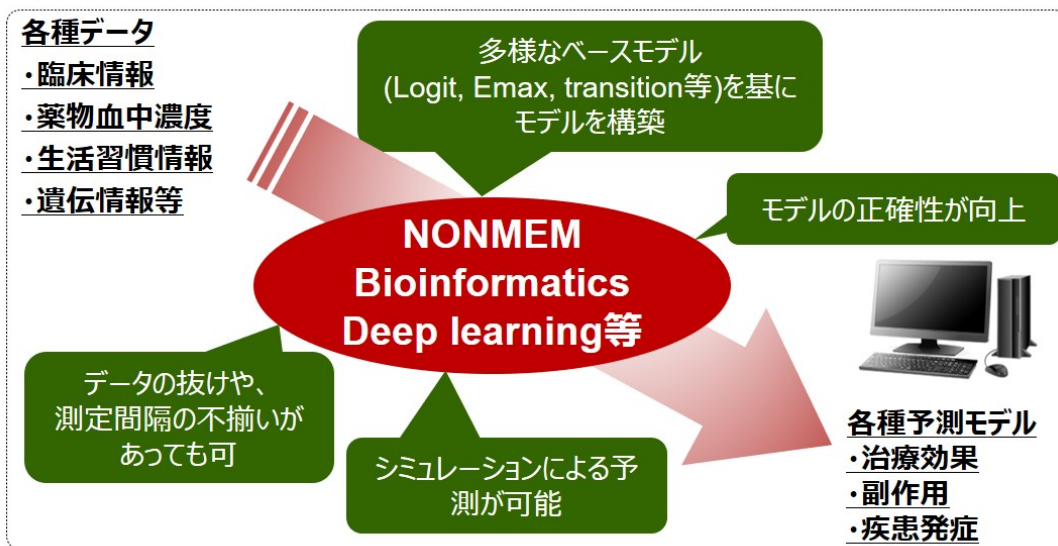
▶ 研究内容

1. 生物統計解析の実施支援・提案

- ◆ 単変量・多変量解析, 生存分析, ROC解析, 一般化推定方程式, 構造方程式モデリング, その他各種統計解析全般を総合的に判断し、実施支援・提案する

2. モデリング&シミュレーション解析

- ◆ 非線形混合効果モデル (NONMEM) 等を用いて各種予測システムを構築



薬物の治療効果・副作用予測に加えて、疾患の発症リスク予測等に
用いることができ、個々に適した介入方法の提案等を可能にする

▶ 応用分野等

非アルコール性脂肪性肝疾患 NAFLD 発症予測モデルの構築
個々の臨床・遺伝情報を基に、NAFLD予防のための最適な
目標体重と運動量を提示するシステムを開発した

▶ 関連リンク

日本人では肥満の基準を満たしていても PNPLA3遺伝子
に変異のある人は脂肪肝を発症しやすいことを証明 鬼木
健太郎 平成27年7月23日

▶ キーワード

生物統計 統計解析 モデリング シミュレーション